



平成 27 年 2 月 13 日

各 位

会社名 株式会社 京都ホテル
 代表者名 代表取締役社長 平岩 孝一郎
 (コード 9 7 2 3 東証第二部)
 問合せ先 取締役 森下 一典
 (TEL 075-211-5111)

通期業績予想値と実績値との差異及び特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ

平成 26 年 8 月 13 日に公表しました、平成 26 年 12 月期(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)の通期業績予想値と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、特別損失(減損損失)の計上についても、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想値と実績値との差異について

平成 26 年 12 月期通期個別業績予想の修正(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	10,774	470	114	30	2 円 90 銭
当期実績値 (B)	10,508	122	△227	△345	△33 円 48 銭
増減額 (B - A)	△266	△348	△341	△375	—
増減率 (%)	△2.5	△74.0	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 12 月期)	10,475	396	7	1	0 円 10 銭

(修正の理由)

売上高に関しましては、宿泊部門は好調に推移しましたが、宴会・レストラン部門では、消費増税以降の顧客の慎重な消費姿勢に加え、需要最盛期のしかも連休日前後においての台風来襲といった悪天候が続いたことも響き、売上高は所期の予想を下回ることになりました。収益面では、こうした売上低迷が大きく影響したほか、エージェンツ手数料の増嵩やレストラン改築工事費用が高んだ結果、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想と比べ減少いたしました。

2. 特別損失(減損損失)の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、固定資産の減損処理を実施し、32 百万円を特別損失として計上いたしました。

(単位:百万円)

内容	減損損失計上額
レストランオリゾンテ(京都府立医大病院店)	32

上記の減損損失は、本日付にて公表いたしました「平成 26 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に反映しております。

以 上